

News Letter

2023年

5月

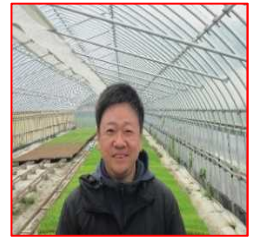
中国四国農政局
広島県拠点

「ヒバゴンネギ」 ～5月本格出荷へ～

「ヒバゴンネギ」は、庄原市にある西城町野菜生産協議会ヒバゴンネギ部会会員が生産する青ネギで、庄原市の最北端に位置する西城町は、中国山地の山に囲まれた冷涼な立地条件を活かし良質な青ネギが生産される地域です。生産者であり同部会の会長である仁井慎介(にいしんすけ)さんと同部会事務局を務める横山光亮(よこやまひろあき)さんに、「ヒバゴンネギ」に関する取組や課題などを伺いました。

西城町野菜生産協議会ヒバゴンネギ部会

西城町野菜生産協議会は1966年に設立され、その傘下の青ネギ部会は、青ネギの中でとくに品質の良いものを「ヒバゴンネギ」として、2002年にロゴ入り個別包装で出荷を開始しブランド化を進めました。2014年には広島県産応援登録制度に登録され、2022年に知名度アップを目指しブランド名と部会名を統一し「ヒバゴンネギ部会」に改称を行いました。2022年時点で会員13戸、生産面積は延べ約7ヘクタール、県内市場へ130トンの出荷実績があります。



仁井慎介部会長

栽培管理

昔からの「土耕(どこう)栽培」で作り続けています。土作りにこだわって土壌検査を実施し、肥料の過不足を判断するとともに、牛糞堆肥や緑肥作物を取り入れることにより「元気な土」ができます。この土による土耕栽培を行っていることから香り高いネギの生産が可能となります。2015年にはチェーンポットを利用した移植栽培の導入により、在圃期間が短縮され年間の栽培回転数が増えました、加えて、中耕や除草作業が省力化され安定的な出荷が出来るようになりました。また、ハウス施設での栽培により、日照時間や温度、湿度、水分量などを管理・調整することができ、天候や害虫の影響を受けにくいので、シーズンを通して安定して栽培することができます。



定植直前のネギ苗

出荷体制

収穫・調整・選別・搬入は、大半の会員が個別に行います。収穫は早朝5時から2時間程度で、その後調整や選別などを行い、14時頃までにJA集荷場へ搬入、翌朝の出荷時まで予冷庫で保管し鮮度保持に努めています。また、根付きのまま出荷しますので、土耕栽培の特色と相まって香り高く棚持ちの良い(鮮度保持期間が長い)ネギとして市場や販売先に届けることができます。

販売戦略

昨今の光熱費高、燃油高や資材高にもかかわらず、販売価格は上がっていないので、所得が低下する傾向にあり、2024年物流問題、後継者不足などもきっかけとなって、会員の所得向上が大きな課題となっています。従来の市場出荷に加えて、打開策として、価格交渉が可能な契約栽培による相対取引を開始しました。その結果、高品質を望む業者には、ハウス施設栽培のネギの大部分が占める規格の上位ランク品である「ヒバゴンネギ」を販売し、低価格帯での引き合いがある露地栽培のネギを中心とした下位ランク品と規格外品は、加工業者などに販売を行っています。こうした取組により、商品化率アップに伴う販路と生産量の拡大につながり、会員の所得が向上しつつあります。



店頭に並んだ「ヒバゴンネギ」

*「ヒバゴンネギ」の名前の由来は、1970年代に庄原市西城町や比婆山(ひばやま)などで頻りに目撃され全国的に有名になった類人猿型の未確認生物「ヒバゴン」にちなんだものです。

農作業安全のポスターを募集します！

○テーマ「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

農業機械の転倒・転落防止に向けて、シートベルトの着用、安全キャブ・安全フレームの使用、ヘルメットの装着等の被害軽減対策のほか、危険個所のう回、カーブ区間の徐行等により転落・転倒を未然に防ぐことが重要です。本コンテストでは、農業機械の転落・転倒の被害軽減対策、未然防止の観点からシートベルトの着用、幅員狭小区間のう回、カーブ区間の徐行など農業者の安全意識が高まるポスターを募集します！

令和4年度入賞作品



- ☆ 募集対象 絵画・イラスト・CG・写真などの平面作品
- ☆ 作品サイズ A4又はA3サイズ・タテ（印刷はA2サイズになります）
- ☆ 応募期間 令和5年4月27日（木）～6月27日（火）

詳細は、こちらをご覧ください。

<農林水産省ホームページ>

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/230427.html>

山地災害に備える

山地災害防止キャンペーン【期間：5月20日（土曜日）～6月30日（金曜日）】

日本は、桜、入道雲、紅葉、白銀の世界に代表される四季をもち、国土の約三分の二が森林に覆われる緑豊かな国土に恵まれています。しかし、四季の様々な気象現象や地形・地質的特徴から、梅雨前線や台風に伴う集中豪雨による山くずれ、土石流、地すべりなどの山地災害が起こりやすく、毎年、尊い人命や財産が失われています。

このため林野庁では、都道府県及び市町村と一体となって、平成8年度から毎年度、地域の皆さんの防災意識の高揚に資するための「山地災害防止キャンペーン」を展開しています。

具体的には、各都道府県等において、ポスターの掲示、ホームページへの掲載、山地防災パトロールや防災・避難訓練の実施等を行っていただいているところであり、これらの活動は、地域の皆さんの防災意識の高揚等を図る上で、極めて重要な役割を果たしています。



詳細は、こちらをご覧ください。

<農林水産省ホームページ>

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/saigai/saigai/>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30

TEL (082)228-9676(内線306)

<農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>